

## 10. 毎度、お世話になっています、広報委員会です！

長かったスキーシーズンも4月を迎えて、シーズンを締めくくるWeb版のSAKだより第67号も、ちょっと遅れましたが、なんとか発行できてホッとしたら、なんとSAKツールの原稿を書かなくちゃいけない時期になってしまいました。歳のせいかな毎年のあれこれのサイクルがどんどん早くなっていくような気がします。

このところずっとメンバーの減少に悩んできた広報委員会に、2人の新しいメンバーが加わってくれました。お2人とも宜しく願いいたします。

とはいえ、喜んでばかりもいられません。広報委員会始まって以来(?)という危機的な状況はまだ続いています。各協会におかれましては、是非新しい広報委員のメンバーを追加推薦いただきますよう、改めてお願い申し上げます。

さて、SAK広報委員会のお仕事は、「SAKだより」の編集・発行、「SAKホームページ」の取材・編集・公開、評議員会・理事会等の書記(会議録作成)、各本部の行事取材など多方面に亘っています。

「SAKだより」は、年2回の発行ですが、奇数号はWeb版のみの発行となっていて、昔ながらの紙ベースでの発行は偶数号の年1回になっています。

ホームページでは、最新の情報をいち早く皆さんにお届けしたいという思いで、スキー場から帰宅した晩にデータ転送を行ったりもしています。(スキー場からやってる剛の者もいるとか…。)

各種会議録作成ですが、一般の皆さんにはなじみが薄いと思いますが、公益法人の情報公開という視点から非常に重要な仕事となっています。

しかし、何と言っても、SAK会員の皆さんとの最大の接点は、雪上行事取材の時だと思います。「SAK PRESS」というロゴ入りの黒いベストをスキー場で見かけたら、気軽に声を懸けて下さい。あなたの写真がSAKホームページを飾るかもしれませんよ。

こうした活動を通じて、私たちは会員の皆さんに県連の最新情報をダイレクトにお届けし、皆さんの声を県連に伝えるパイプ役を務めていると考えています。

今後ともよろしく申し上げます。

公益財団法人 神奈川県スキー連盟  
広報委員会  
委員長 守谷 紀幸